

協力を生むネットワークの特徴とは？

森林科学コース

林 雅 秀 准教授 HAYASHI, Masahide



キーワード：コモンズ，社会的ネットワーク，協力

専門分野： 林業社会学・集合行為論

連絡先Email：hayashima@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp

研究内容

共有林（入会林野）の利用や管理、製材業者や伐採業者など企業間のさまざまな競争、自然公園などの管理や利用、農山村集落における活性化のための活動、等々のいろいろな場面で、自分一人だけが協力をすれば損をしてしまうけれど、みんなが協力をすれば全体の利益が向上する状況が起きています。この「みんなの協力」を達成する条件を解明するのが私の研究テーマです。

そうした条件中でも、社会関係（あるいは社会的ネットワーク）に着目し、どのような社会関係が協力の達成に有益かを考えています。

例えば、協力を達成するために、誰と誰が（どんな人とどんな人が）密な関係を作るとよいのか、誰と誰が情報交換を行うとよいのか、誰と誰の連携が足りないのか、といった観点で研究を行っています。

こうした問題は学問の世界だけでなく、現場での実践においても有益なものと信じています。

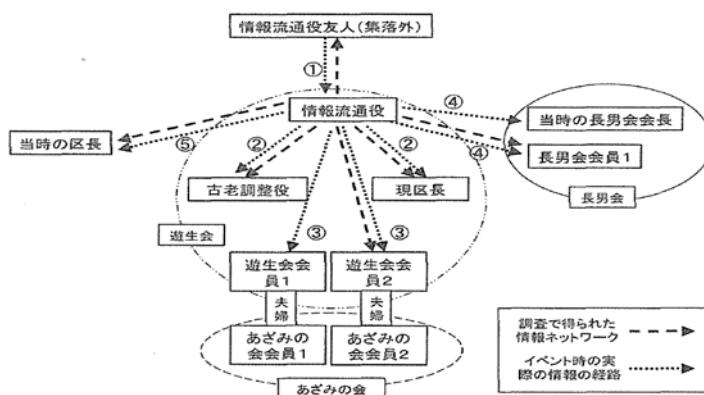


図2 「キャラバン 2002」開催における情報の経路と「情報流通役」の情報ネットワーク

社会的ネットワーク分析による社会関係の把握方法の一例
定量的な調査によって集落内外の多数の主体間の社会関係を把握し、それを図化したもの。
(農村計画学会誌31(2)より引用)